

第5学年「国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- 友達と意見交流をしたり、共同学習をしたりすることに対して意欲的な児童が多い。
 - 他者との考えの交流を通して、そのよさや違いに気づき、自分の考えを高めようとする児童が増えた。
- 課題**
- ▼ 文章の要旨を読み取り、文字数に合わせて要約することが難しい。
 - ▼ 語彙や漢字の定着に個人差がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 相手や目的に応じて、考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力。
- ◇ 話し手の意図をつかみながら聞く力。
- ◇ 相手や目的に応じて考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く力。
- ◇ 目的に応じて、内容や要旨をとらえながら読む力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 学習計画を立てて見通しを持って取り組ませ、主体的な読みの力や学びを調整する力を育む。

言語活動の工夫

- 複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりして、情報や情報同士の関係を整理する。

ICT活用の工夫

- 読み取った内容や、自分の考えを共有する際に ICT を活用し様々な考え方を交流できるようにしたり、意見をつけ足したりする。

課題解決力育成の工夫

- 話し合いを通して様々な視点から検討し、自分の考えを広げたり、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめたりする。

達成目標

- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。